

# 「コクール垂水」視察報告

I. 2014年7月14日（月） 10:00～11:30

---

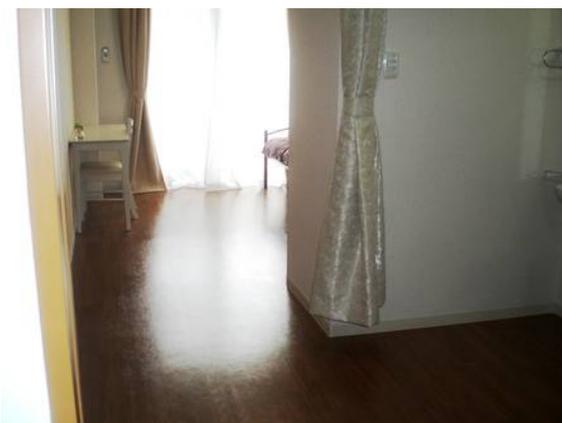
## 1. 館内見学（コクール垂水）



コクール垂水外観 おしゃれな一般のマンションという感じ



左は、共同のキッチンと食堂 明るく広々としています。右は各フロアにあるリフトのついたお風呂。このタイプと、簡易タイプ2つがフロアに配置されています。



個人の居住部屋。普通のワンルームマンションのトイレがバリアフリーという感じです。



ベッド脇の壁に取り付けられた iPad。理事長より説明を受ける。

理事長より～

- ・本多間で高齢者向け賃貸住宅等を手掛けてきたが、障がい者向け賃貸の必要性を感じて開設した。
- ・就労支援の事業も並行し取り組んでおり、B 型では工賃 25,000 円までしかいかないで、最終的には A 型を目指す。
- ・特別支援学校を出てヘルパーの資格を取って、サ高住において、生活介護なら行うことができる。
- ・小規模作業所は、居場所づくりまでが多く、B 型での運営はできるけれども、自立には遠い。
- ・小規模作業所の多くは、家族が始めたところが多い。

- ・建物など総額は6億円のコスト。うち、助成は1割のみ。
- ・50床のうち4床がショートステイ。
- ・共同生活となるが、感染症の防止、親離れも課題。
- ・在宅で家族がケアをしている人は、認定をもらっていない人も多い。
- ・障害者向けの在宅のケアマネもいる。